



第32号

2017年11月1日

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵・井上 忠司 愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングに夢中になり、10年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者です。

サツマイモの花が咲くのは…？

あんず畑の芋ほりの時です（記事は4頁）。隣の畝に、初めて見るサツマイモの花が咲いていました（写真右）。あんず畑の師匠・吉岡信太郎さんの話では、「サツマイモは、ふつう花を咲かせない。しかし、生長や生命の危機を感じる天候不順のときなどは、種を絶やさないように花を咲かせ、種をつくろうとすることがある」のだそうです。ということは・・・。



玲子さんに、インタビュー

10月26日、久しぶりの晴天の日、さんしょう利用者の皆さんとの「ゆいの花公園」への外出の後、玲子さんにお聞きしました。(聞き手、中野三代子)



▲ゆいの花公園で、一番右が玲子さん

—きょうの外出は、どうでしたか？

玲子 とても気持ちよかったわ。それにとってもきれいでした。自然はよいですね。うちに籠もっていると考えなくてもよいことばかり考えてしまうけれど、皆さんと一緒に外かけて楽しかったです。

—玲子さんは、どちらにお生まれですか？

玲子 東京生まれの東京育ちです。父は福岡、母は鹿児島生まれで、大変厳しい家でした。

若い頃、その父母と意見が合わなくて家出同然で家を出ました。すぐに「定職を持たないと」と思い、3年間銀座のクラブで見習いをしながら、新宿のバーテンダースクールに通いました。グランドピアノがあってシャンソンを歌うようなお店でした。カウンターの中で、シェーカーを振って働いていたこともあるんです。通勤のときに、近くのお店で働いている三輪明宏さんに会うこともありました。お互いに出勤時間が同じだったのね。大変なこともありましたが、楽しい時代でした。

私は、戦時中に生まれたので、嫌な時代に生まれたなあと思っています。そして今の時代も戦争に向かっているように思えて、本当に背筋からヒヤッと冷たいものを押し付けられたような気持ちになりますね。今度にはもっと恐ろしい化学兵器・核兵器の戦争になるのではないかと思います。生まれた時が戦争中で死ぬときも戦争…、本当に何でなのでしょう。これから戦争になるとは決まっていますが。

今回の選挙も残念で悔しい。若い人たちに戦争の恐ろしさ、悲惨さが伝わっていないからなのでしょうね。だから憲法9条いらないうんて言う。私がこういう意見を言っているときに、「うるさい、ババア！」なんていう若者がいたので、「伊達に婆になったわけではない。君たちのことを考えて生きてきた」と言ってあげ

生まれた時は戦争。死ぬ時も戦争、なんてことになったら悔しいから…

たわ。これからも言って歩く。今の政治は片手では戦争ごっこがしたくてたまらなくて、片手では年寄りいじめをしている。後期高齢者の負担がどんどん上がって、どうなってしまうのでしょうか。このことを考えるとどうしようもない気持ちになって、イライラしてしまうの。この国は困難な状況にあると思うと居ても立っても居られなくなります。

—これからどのように暮らしていきたいですか？

玲子 化粧品の販売店を友達と共同経営したり、スナックを経営したり、衣料品の販売をしたり、色々なことをやってきました。おかげでたくさんの人に出会えて、ずいぶん勉強になりました。仕事で水商売もしましたが、私はお酒が1滴も飲めないで、それが幸いでした。お酒が飲めたら自分も飲んでしまうでしょうからね。80歳まで生きられると思っていませんでしたが、父親も100歳まで生きましたから、もうひとふんばりしたいです。

施設に見学に行ったりもしたのですが、やっぱり私はアパートなど自分の空間で暮らしたいわ。長屋みたいなところが理想的だけど。今の住まいは不便なところもあるので、さんしょうを利用しながらゆっくり自分に合った住まいを見つけないかと思っているの。

—さんしょうを利用してのご感想は？

玲子 ここは快適です。ここの人はみんな明るくて粒ぞろいで、親切です。職員の皆さんは孫のような年頃の方も多いいけれど、かわいいなあという気持ちになって癒されます。こういう環境でいたいなあと思います。一人暮らしをずっとするのは無理と言われますが、できるだけ自分の希望をかなえたい、かなえさせて欲しいと思います。

幸樹会館開設1周年

10月2日、幸樹会中間職員全体会議の終了後、近隣



の町会の役員の皆様、鼎会三和病院の皆様にもご参加いただき、幸樹会館開設1周年を祝う会を開催しました。(写真は、あいさつする鼎会・齊藤丈夫理事長)



▲“動く籠”を狙って虎視眈々。ん！テーブル下は？

第11回地域交流カフェ「運動会」 秋だ！身体を動かそう！

10月17日の地域交流カフェは、「幸樹会運動会」。利用者代表・佐々木さんの元気な「選手宣誓」で競技開始。玉入れ・借物競争・スリッパ飛ばしの3種目を実施しました。利用者・家族の皆さん、職員の40名が、赤組・白組に分かれ、白熱した戦いを繰り広げました。

赤の玉、白の玉を握りしめ、職員が背負って動くかごを目指して狙う姿は、いつもの穏やかな表情、無口な様子とは一変。わくわくした活気に溢れた表情で、みんな競技に夢中。

食欲がなくて心配していた方も、車いすから立ち上がって手を振り上げ競技に参加。ご家族も、いつもと違う本人の姿を見て、一緒に喜び、良い時間を過ごせたようでした。休憩後、南雲朋子看護師のインフルエンザなど感染症対策の話、吉岡信太郎さんからは、日々の生活の中での健康づくりを伝授していただきました。

(大塚かすみ)



▲スリッパ飛ばし

シリーズ・『いまと昔の物語』から見た 河原塚の風景いろいろ…③ 旧家はいつから河原塚に

河原塚で大昔から住んでいたのは、矢野、飯沼、太田原、高橋の名前の人たちとです。

では、この人たちはいつごろから河原塚に住んでいるのでしょうか。河原塚史編纂事業では、わかる限り調べました。

まず高橋家。7軒あり、千駄堀の高橋家から分家しました。2つの流れがあり、高橋本家は千駄堀の高橋彦兵衛から分家して住み始めました。同家の墓石には天文(てんぶん)4年(1535)と彫られたのがあります。江戸時代よりも前に移り住んだとみられます。そこから3軒が分家しました。ほかの3軒は千駄堀の別の高橋家から480年前に分家しましたが、本家がどこかは分かりません。

太田原一族は宗家の孫兵衛が400年前に住み始め、そこから4軒が分家しました。孫兵衛の本家がどこか、どこから移り住んだのかは分かりません。

飯沼家は2つの流れがあります。1つが日暮の豪族、飯沼八蔵の分家です。江戸時代の初期かもっと前に、兄弟4人のうち3人が分家し、1人が日暮に、2人が河原塚に移り住みました。河原塚に子孫が4家、健在です。もう1つの流れは、本家がどこか分かりません。

残る矢野家はさらに大昔からです。それは次回にみましょう。(河原塚史編纂委員会幹事・内中偉雄)

第7回さんしょう運営推進会議報告

事業所自己評価を審議

10月17日、第7回さんしょう運営推進会議を開催しました。東部地域包括支援センター・広谷さん、松戸市小多機連絡会会長・須藤さん、役員・田中さん、三和病院MSW藤巻さん、利用者・住民の皆さん、幸樹会役職員など13名が参加しました。

今回は、さんしょうのこの1年間の事業所自己評価について、事前のご意見を含めて委員の皆さんからご意見をいただきました。「内容が豊かで質の良いケアをめざしていることがよくわかる」「これまで以上に、看多機の機能を活かして自己決定・自立支援を」「市内の看多機は少ないのでさんしょうの圏域を超えたサービス提供は非常にありがたい」などの評価や、「住民も参加している学習会の内容はすばらしいが、職員が疲れている様子(?)、もったいない」、「介護制度や介護用語など、一般の住民にはわかりにくい。事業者・介護従事者は、もっと地域に知らせる活動を」などのご意見をいただきました。自己評価にもとづく改善計画も順次つくり、実施を開始しています。

さんしょう1年間で利用者46名、そのうち病院を退院してきた方が23名、施設から退所してきた方が6名と、全利用者の3分の2の方が在宅復帰支援で、ガン末期・重度者や難病、医療処置が必要な方が多いのが特徴でした。また、22名が利用終了となっていますが、お看取りさせて頂いた方が7名となっています。事業開始後1年ですが、看護小規模に求められているスムーズな在宅移行支援・在宅での看取り支援に、少しはお役に立てているのではないかと事業所報告をさせていただきました。(岡本健吾)

みんなが集まりました。看多機さんしょうの利用者さんや、近隣の皆さん、地域の子供たちが参加して楽しい芋ほりになりました。利用者の皆さんのスコップの入れ方に惚れ惚れ、子供たちが真剣に掘っているのがかわいらしくて…、今年は大きなお芋が採れました。

収穫した後は、さんしょうのリビングに戻って、みんなでお昼ご飯。トン汁や芋ご飯、デザートにところでんをお腹いっぱい食べて大満足でした。利用者さんからの「ここは子供たちが集まってきて賑やかでとてもいいね」という言葉、子供たちからの「楽しかったー！」の声が聞かれました。春の苗植えや夏場の草取りも頑張ってたよかったです！毎年恒例で行いたいと思います。



台風の間のお芋ほり大会



10月28日(土)、台風22号が近づいてきていて天気が心配でした。前日の天気予報では降水確率がどんどん上がってきていてドキドキ。「芋のつるは切って」しまったけれど延期するしかないか…」と考えていましたが、当日雨は降っておらず、「よし！やろう！」と

八柱学習会(定期勉強会)

●前回報告10月20日(金)。助言者 武井幸穂氏

テーマ: 介護保険制度を知らう①

地域包括ケア研究会「2040年に向けた挑戦」

参加者18名。しばらく、介護制度・地域包括ケアシステム等々の問題を勉強します。

●次回学習会予定(定例日: 毎月第3金曜日)

日時: 11月17日(金) 18:30~19:30

テーマ: 介護保険制度を知らう①

二木立『地域包括ケアと福祉改革』から

*場所: 幸樹会館2階 *参加自由

今月の屋上太陽光発電量は、

784KW



幸樹会館電力使用量 3208KW 自給率 24.4%